

ランサムウェアからの回復を実現する Data Protector の特長トップ 10

OpenText Data Protector は、拡張性に優れたエンタープライズグレードのバックアップおよびリカバリソフトウェアソリューションです。ハードウェアストレージプロバイダーとの緊密な統合により、シンプルな環境から複雑なハイブリッド IT 環境までカバーする、単一のバックアップおよびリカバリソリューションを提供します。非構造化データ、ミッションクリティカルなアプリケーション、オペレーティングシステム、仮想化環境を完全に保護します。

多くの組織は、ランサムウェアの攻撃で破損したファイルを復元するためのバックアップシステムが論理的な手段であると考えています。しかし、最近の攻撃の高度化から、多くのセキュリティ専門家は、複数のバックアップをさまざまな場所に保持し¹、管理およびシステムのアクセスを制限すること²、つまり 3-2-1 バックアップルールに従うことを推奨しています。OpenText™ Data Protector の機能がこれらの推奨事項にどのように対応するかを、以下に説明する特長および利点でご確認ください。

- 1. 高価値のターゲットを保護。** 使用中の環境にはペタバイト規模のファイルが存在する可能性があります。その中には絶対に必要なファイルもあり、それらの損失や破損は致命的です。Data Protector は、アプリケーションの価値に応じて、異なる RPO と RTO の目標を設定することができます。
- 2. ネイティブアプリケーション統合による迅速な復旧。** Data Protector は、ミッションクリティカルなアプリケーションに対して特に包括的な保護機能を提供します。企業全体のバックアップに対応しており、データ損失やシステムの中断が発生した場合でも迅速なリカバリでビジネス継続性を確保します。
- 3. 高度なリカバリオプションにより、アプリケーションのパフォーマンスとデータの可用性を向上。** Data Protector は、アプリケーションに対応した自動スナップショット管理を提供します。IT スタッフは 1 時間単位でスナップショットを設定ことができ、ランサムウェア攻撃が発生した場合のデータ損失を最小限に抑えることができます。
- 4. 自動化された障害復旧。** 物理システムおよび仮想システムとの間での、既存の任意のファイルシステムまたはイメージからのベアメタルリカバリを一元化することで、障害復旧を自動化できます。このオプションはワンクリックで有効にすることができ、追加コストは不要です。
- 5. 安全なバックアップ。** Data Protector は、バックアップを保護するために、ビルトインのセキュリティモデルを使用した安全なアプローチを採用しています。これは、バックアップの保存中や転送中の暗号化など、バックアップデータを保護する複数の方法を備えたエンタープライズレベルのバックアップおよびリカバリソリューションです。また、Data Protector は共通基準 (CC) 認証を受けています³。

Data Protector は、最新のエンタープライズ IT 環境に対応した障害復旧プロセスを提供することで、IT 管理者の時間を節約し、ビジネスの継続性を確保します。Data Protector で、管理者は次のことが可能になります。

- ランサムウェアなどのセキュリティ侵害から、データやシステムを迅速に復旧する。
- 自然災害後に、ローカルオフィスとリモートオフィスでの業務を復旧する。
- バックアップと障害復旧に同じソリューションを使用して IT 管理を効率化する。
- 異なるハードウェアやハイパーバイザーで新しいシステムにデータをリカバリすることで、効率性とビジネスの機敏性を向上させる。
- 最新のリカバリイメージを確保することで、ビジネスの継続性を向上する。
- 対話型のリカバリウィザードを使用して、障害復旧を簡素化する。

1 [How to protect backups from ransomware](#), Maria Korolov, CSO (2020 年 11 月 2 日)

2 [Ransomware Damage Report: 2017 Edition](#), Herjavec Group (2017 年 5 月 24 日)

3 [NIAP Web ページ](#)

「ランサムウェアに対する最も効果的な抑止策は、システムを定期的にバックアップしてからシステムを検証することです」

ALEXANDER VOLYNKIN 氏、JOSE MORALES 氏、ANGELA HORNEMAN 氏

Ransomware: Best Practices for Prevention and Response

2017年5月31日

参考情報

[OpenTextのCEO、Mark Barrenecheaのブログ](#)



- 6. クラウドへのバックアップ。** Data Protector は、Amazon S3、Microsoft Azure、Scality、Ceph といったクラウドストレージとネイティブに連携できます。これらのサービスとの間でやり取りまたは保存されるすべてのデータは、効率とセキュリティのために圧縮および暗号化されます。Data Protector for Cloud Workloads 拡張製品による広範な追加クラウドバックアップオプションを利用できます。
- 7. テープアーカイブとサイバー攻撃からの保護。** テープバックアップは、通常のシステム環境から分離されたメディアタイプにデータをバックアップすることで、悪意のあるコードがシステムやデータに感染しないよう阻止し、ランサムウェア攻撃に対するセキュリティを確保します。
- 8. OpenText の実力。** OpenText Data Protector は、強力な自動化ツールを含む多くの OpenText™ ポートフォリオ製品と連携して、企業の生産性を最大限に高め、環境を簡素化することを可能にします。定期的なメンテナンス、リソースのプロビジョニング、分析、インシデント解決などの日常的なタスクを自動化することで、運用コストや手作業によるエラーを削減できます。
- 9. 高度な分析による運用上の知見の獲得。** 新しいレポートツールは、運用分析から得られるリアルタイムのインテリジェンスを使用して、問題解決のための事後考察、現在のプロセスの状態や関係を反映するための知見、将来のニーズの予測を可能にする先見性を提供します。
- 10. 標準化された保護。** Data Protector は、物理環境、仮想環境、異種 OS、コアデータセンターからリモートサイトまでのビジネスアプリケーションを一元管理できる、統合されたスケーラブルなアーキテクチャを提供します。マルチプラットフォームのハイブリッドな IT 環境に対応する、包括的な単一バックアップソリューションです。

無償評価版のダウンロード：

www.microfocus.com/ja-jp/products/data-protector-backup-recovery-software/free-trial

詳細情報：

www.microfocus.com/dataprotector

www.microfocus.com/opentext